

## は じ め に

第31回衆議院議員総選挙および第10回最高裁判所裁判官国民審査は、昭和42年1月8日公示され、同年1月29日に執行された。

今回の総選挙は、戦後ちょうど10回目にあたるのであるが、過去の選挙に比べてとくに記憶さるべきものがある。

まず、今回の選挙が、いわゆる“黒い霧”解散による選挙であることから、巷間には、政策対決以前の政治のあり方、ないしは政治姿勢を争点とする選挙といわれたこと。

つぎに、公明党の衆議院総選挙への初出馬による多党化時代の到来ということ。議員定数は467人から486人と19人増加したが、自由民主党、日本社会党があまり振わず、代わりに民主社会党、日本共産党および公明党が議席を増したことによるのである。

また、新人の進出には目ざましいものがあり、全国的には、前3回の総選挙までは60人台であったのがこれが一挙に102人になつたということである。これについては、清新なもの、ないしは変化を求める民意の反映ともいふべきであろうか。

管理の面から見ると、昨年法律改正による永久選挙人名簿制度採用後初めての選挙であつたこと。県および市区町村の選挙管理委員会においては、選挙事務のさなか、新制度のP・R・から、棄権防止、不在者投票制度活用の周知等についても懸命の努力を払わねばならなかつた。

選挙を明るく正しく推進する運動も、各地で非常な努力が払われた。にもかかわらず、相当数の選挙違反が見られたことは、件数として前回より減少しているとはいえ、われわれの明るく正しい選挙推進運動の前途に多難な試練を残すことになつた。

ともあれ選挙は終つた。選挙運動もいつになく激しさを加え、かつ管理面においても種々困難をきわめたが、無事選挙の執行をおえることができたのは、一つに市区町村選挙管理委員会の各委員ならびに関係職員その他関係各位のご努力ご協力の賜と深く感謝する次第である。

昭和42年3月

福岡県選挙管理委員会

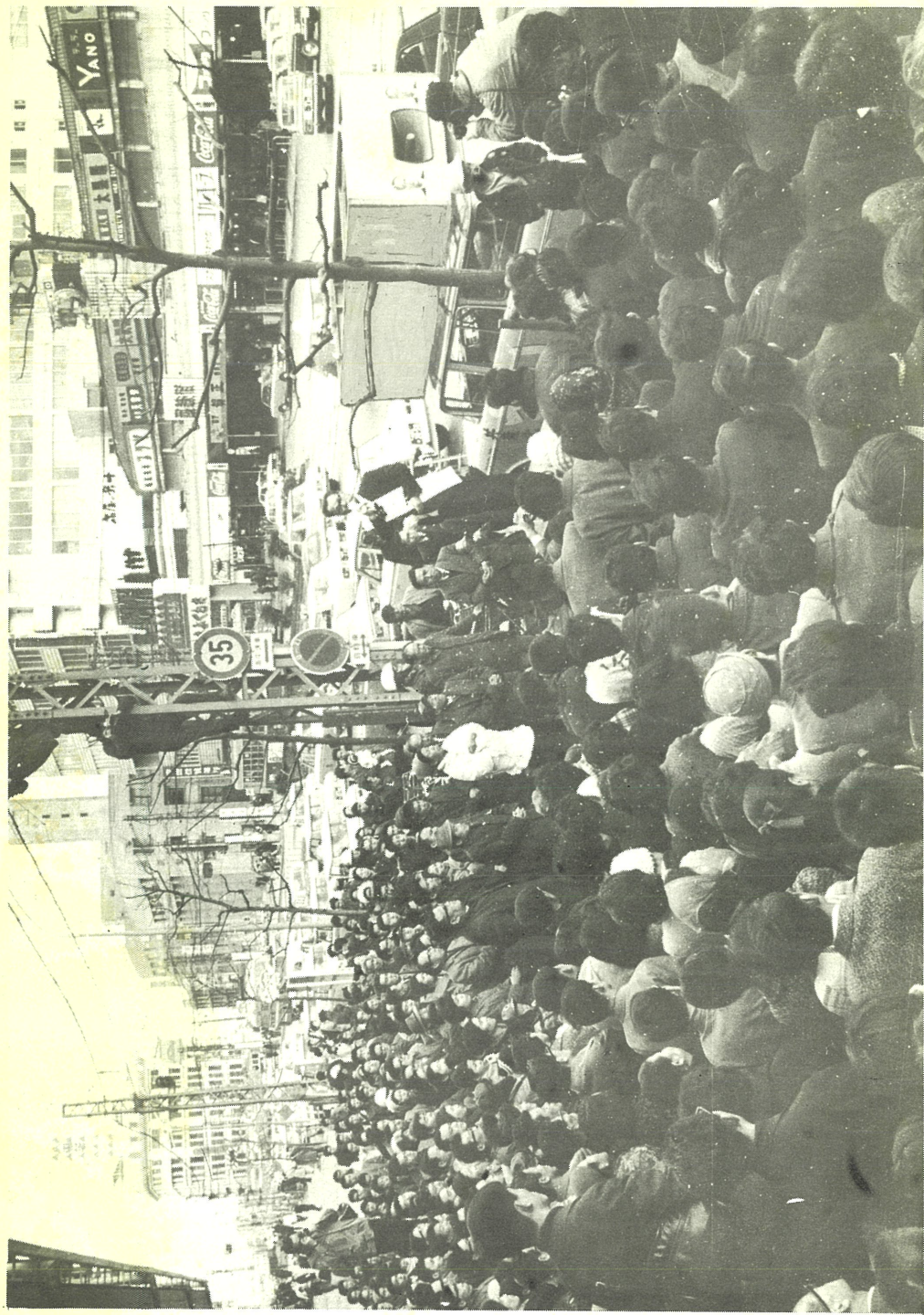
委員長 宮崎時春

### 付 記

第31回衆議院総選挙および第10回最高裁判所裁判官国民審査の記録のほか、次の各選挙についてもあわせて収録した。

1. 昭和41年5月29日執行 福岡県議会議員補欠選挙（行橋市選挙区）
2. 昭和40年7月5日以降昭和42年1月29日までの間に行なわれた市町村の長および議会議員の選挙





お願いします 第1声 (読売新聞社 提供)





出来あがる衆院選ポスター  
 (朝日新聞社 提供)

立会演説会に用意される  
 ビニールの下足袋  
 (毎日新聞社 提供)





あわただしくなつた福岡県選管事務局 (西日本新聞社提供)



手おちがないように (西日本新聞社提供)





真剣な眼 — 立会演説会風景 — (朝日新聞社 提供)



ぎつしりつまつた最後の立会演説会 (読売新聞社 提供)





ニツコリー票 一成人式の模擬投票（毎日新聞社 提供）



子供づれが目立つ日曜選挙の団地投票所（夕刊フクニチ新聞社 提供）



# 衆議院議員 総選挙

## 投票日 1月29日



しあわせは  
この一票の自覚から

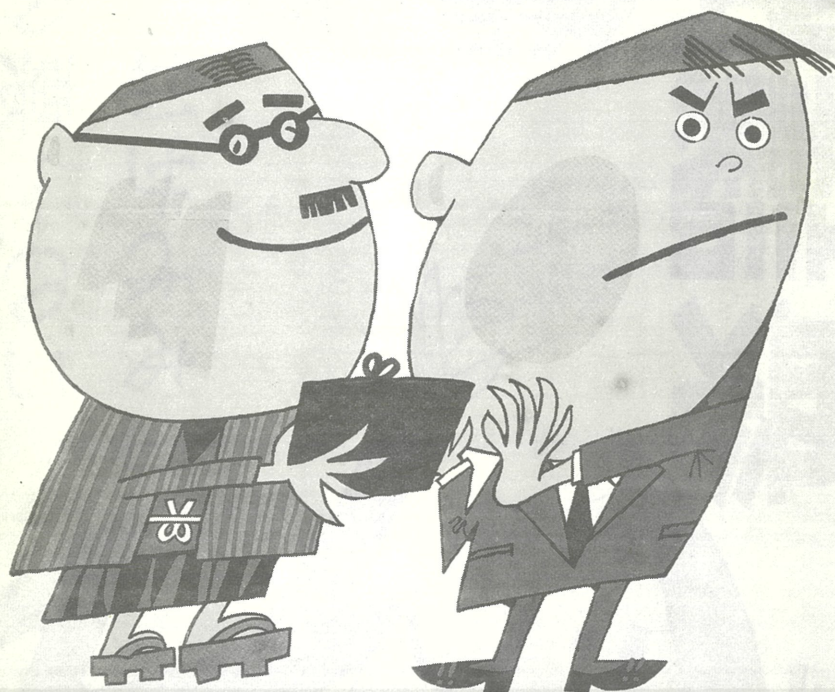
福岡県選挙管理委員会  
福岡県明るく正しい選挙推進協議会



# 衆議院議員 総選挙

投票日

1月29日



しあわせは  
この一票の自覚から

福岡県選挙管理委員会  
福岡県明るく正しい選挙推進協議会



# 目 次

## 選 挙 の 記 録

### 第 1 編 衆議院議員総選挙および 最高裁判所裁判官国民審査

#### 第 1 章 衆議院議員総選挙

1. 選挙長および同職務代理人	1
2. 立候補者に関する調	2
3. 当選人に関する調	5
4. 選挙公報	7
5. 立会演説会開催計画、日時、会場および順序に関する調	17
6. 市町村別投票結果調	26
7. 候補者別開票結果調	34
8. 無効投票調	42
9. 公職の候補者の選挙運動に関する収支報告書要旨	50

#### 第 2 章 最高裁判所裁判官国民審査

1. 審査分会長および同職務代理人	68
2. 審査に付される裁判官の氏名等	68
3. 審査公報	69
4. 投票状況に関する調	71
5. 罷免を可とする投票数、罷免を可としない投票数等に関する調	77
6. 無効投票調	93

#### 第 3 章 各 種 資 料

1. 事務日程表	96
2. 明るく正しい総選挙推進事業要綱	109
3. 衆議院議員総選挙臨時啓発事業	110
(1) 啓発日程表	112
4. 選挙当日有権者数調	113



5. 選挙事務報告例による各種報告調	121
(総選挙)	
(1) 開票結果に関する調	121
(2) 選挙人名簿登録人員数に関する調	122
(3) 有権者数、投票者数及び投票率に関する調	122
(4) 候補者の届出に関する調	124
(5) 選挙区別党派別立候補者数、競争率に関する調	124
(6) 党派別男女別新前元別候補者数に関する調	124
(7) 職業別候補者数に関する調	125
(8) 選挙運動事務員の届出をした候補者数に関する調	125
(9) 年令別候補者数に関する調	125
(10) 党派別男女別新前元別当選人数に関する調	125
(11) 職業別当選人数に関する調	126
(12) 年令別当選人数に関する調	126
(13) 党派別男女別得票数に関する調	126
(14) 落選人に関する調	126
(15) 投票総数、有効投票数及び無効投票数等に関する調	126
(16) 有効投票に関する調	127
(17) 無効投票に関する調	127
(18) 仮投票に関する調	127
(19) 点字投票に関する調	127
(20) 代理投票に関する調	127
(21) 不在者投票の事由に関する調	128
(22) 不在者投票の受理、不受理に関する調	129
(23) 不在者投票管理者別不在者投票に関する調	130
(24) 指定船舶における不在者投票に関する調	130
(25) 投票所に使用した施設に関する調	130
(26) 繰上投票の期日別投票区数に関する調	130
(27) 投票箱の送致に関する調	131
(28) 開票区に関する調	131
(29) 選挙区別、開票期日別、開票区数、有権者数に関する調	131
(30) 立会人に関する調	132



③1	投票管理者及び投票所事務従事者に関する調	132
③2	開票管理者及び開票所事務従事者に関する調	132
③3	選挙長及び選挙会事務従事者に関する調	133
③4	選挙公報に関する調	133
③5	氏名等の掲示に関する調	133
③6	ポスター掲示場に関する調	134
③7	立会演説会の開催計画等に関する調	145
③8	立会演説会の開催度数に関する調	145
③9	立会演説会の演説者等に関する調	145
④0	立会演説会に使用した施設に関する調	146
④1	立会演説会の聴衆等に関する調	146
④2	個人演説会の会場数に関する調	151
④3	個人演説会の会場使用度数に関する調	151
④4	新聞広告に関する調	151
④5	政党その他の政治団体の政治活動用ポスター検印または証紙交付に関する調	151
④6	政党その他の政治団体の政談演説会の開催回数に関する調	152
	〔最高裁判所裁判官国民審査〕	
(1)	投票結果に関する調	152
(2)	投票総数、有効投票数、無効投票数等に関する調	152
(3)	無効投票に関する調	152
(4)	仮投票に関する調	153
(5)	点字投票に関する調	153
(6)	代理投票に関する調	153
(7)	不在者投票の受理、不受理に関する調	153
(8)	罷免を可とする投票数、可としない投票数等に関する調	154
6.	投票速報状況に関する調	155
7.	開票速報状況に関する調	163
8.	開票開始時刻および終了時刻に関する調	179
9.	政党別得票数の前回総選挙との比較調	181
10.	衆議院議員総選挙における選挙事務報告について	209
11.	衆議院議員総選挙開票状況速報実施要領	214
12.	福岡県の戦後における各種選挙に関する調	234



## 第2編 福岡県議会議員補欠選挙

### ( 行 橋 市 選 挙 区 )

1. 事務日程表	239
2. 選挙長および同職務代理人	248
3. 立候補者氏名等	248
4. 当選人に関する調	249
5. 当日有権者数および投票結果調	249
6. 候補者別、得票数等に関する調	249
7. 無効投票調	250
8. 公職の候補者の選挙運動に関する収支報告書要旨	251

## 第3編 市町村の長および議会議員の選挙

( 昭 和 4 0 年 7 月 5 日 ~ 昭 和 4 2 年 1 月 2 9 日 )